No. 127

構文・英文和訳 ULTIMATE CHEAT SHEET

下線部和訳で狙われる頻出構文40

下線部和訳は「この構文がわかるか」を確かめる問題。狙われやすい構文40を、訳の型・例文・採点で見られる所のセットで。

Web版 はこちら

ここだけ3行

1 下線部の中の「構文」を先に特定。訳の型を当てはめる

2 まず型どおりの直訳→次に日本語として整える

3 比較級・助動詞・時制・否定の訳抜けは減点の定番

下線部和訳はここを見られる

下線が引かれるのは、たいてい「**直訳ではうまく訳せない構文**」を含む所。採点の基準は大学ごとに違い公表されないことも多いが、一般には①構文を正しく取れているか ②語句・時制・助動詞の訳抜けがないか ③日本語として意味が通るか、の観点で見られることが多い。下の note は「ここを外すと減点されやすい」所。

◆ ① 比較：程度と「差」を訳に出す 7

☐ **The 比較級 ～, the 比較級 ...** ★★★ … ～すればするほど…
「～につれて…」も可。2つ目の比較級（もっと…）の訳抜けに注意
The older we get, the more we value our time.
年を取れば取るほど、時間を大切に思うようになる。

☐ **A is no more B than C is (D)** ★★★ … A が B でないのは C が D でないのと同じ
「C と同様に A も B ではない」も可。「A は C ほど B でない」は誤訳
A computer can no more think than a calculator can.
電卓が考えられないのと同様に、コンピューターも考えることはできない。

☐ **A is no less B than C is (D)** ★★☆ … C に劣らず A も B だ
両方肯定。「C ほど B でない」と否定にすると正反対
Listening is no less important than speaking in a conversation.
会話では、聞くことは話すことに劣らず大切だ。

☐ **not so much A as B** ★★★ … A というよりむしろ B
主張は B。A と B を逆に訳すと意味が正反対になる
Happiness depends not so much on what you have as on how you see it.
幸福は、何を持っているかというより、それをどう見るかで決まる。

☐ **X times as ～ as A／X times the 名詞 of A** ★★☆ … A の X 倍～
half as ～ as＝半分。何の「倍」か（重さ・数）を明示する
The new tablet is half as heavy as the old one.
新しいタブレットの重さは古いものの半分だ。

☐ **Nothing is 比較級 than A** ★★☆ … A ほど～なものはない
最上級の意味が出ていれば「A が最も～だ」も可
Nothing is more valuable than the time you spend with your family.
家族と過ごす時間ほど貴重なものはない。

☐ **all the 比較級 for A [because S V]** ★★★ … A なのでそれだけいっそう～
the＝「その分だけ」。「いっそう・なおさら」を落とすと減点。none the 比較級＝それでも少しも～ない
I respect her all the more because she never complains.
彼女は決して不平を言わないので、なおさら尊敬している。

◆ ② 否定：範囲と二重否定 8

☐ **not always／not all／not necessarily** ★★★ … いつも［すべて／必ずしも］～とは限らない
部分否定。「すべて～ない」と全体否定に訳すと誤訳
Expensive things are not always better.
高い物が必ずしも良いとは限らない。

☐ **It is not until A that B** ★★★ … A して初めて B
直訳「A まで B しない」でも意味は合うが、「初めて」の方が構文の理解が伝わる
It was not until I started working that I understood how hard my parents had worked.
働き始めて初めて、両親がどれほど懸命に働いてきたかがわかった。

☐ **cannot ～ too ...** ★★★ … いくら～してもしすぎることはない
「～しすぎてはいけない」と禁止に訳すのは誤り
We cannot be too careful about what we post online.
ネットに何を投稿するかには、いくら慎重になってもなりすぎることはない。

☐ **never A without B-ing** ★★☆ … A すると必ず B する
二重否定は肯定に直すと自然。直訳でも構造が正しければ部分点は残りやすい
I never hear this song without remembering my high school days.
直訳：高校時代を思い出さずにこの歌を聞くことはない →意訳：この歌を聞くと必ず高校時代を思い出す。

☐ **anything but ～／nothing but ～** ★★★ … 決して～ではない／～にすぎない
取り違えると意味が正反対。but＝「～以外」から考える
His explanation was anything but clear.
彼の説明は決してわかりやすいものではなかった。

☐ **the last A to V** ★★☆ … 最も～しそうにない A／決して～しない A
文字どおり「最後に～する人」の時もあるが、この型は否定で訳す
She is the last person to give up halfway.
彼女は途中で投げ出すような人では決してない。

☐ **not A because B** ★★★ … B だから A というわけではない
読みは2通り。just because なら「B だから A というわけではない」。文脈で「B なので A しない」も
People don't read books just because they are useful.
人は役に立つからという理由だけで本を読むわけではない。

☐ **It is not that A but that B** ★★☆ … A というわけではなく B なのだ
事情の説明。「～ではない」だけで切ると but 以下とつながらない
It's not that I don't want to help, but that I don't have time.
手伝いたくないわけではなく、時間がないのだ。

◆ ③ 仮定法・助動詞：「だろう」「のに」を落とさない 5

☐ **Without A／If it were not for A** ★★★ … A がなければ（…だろう）
主節の would＝「だろう」まで訳す。過去なら If it had not been for
Without the internet, our lives would be very different.
インターネットがなければ、私たちの生活はずいぶん違ったものになるだろう。

☐ **主語に隠れた仮定（A＋名詞＋would）** ★★★ … ～なら（…だろう）
主語を「～なら」と条件に訳す。直訳「本当の友人は言わないだろう」は弱い
A true friend would not say such a thing.
本当の友人なら、そんなことは言わないだろう。

☐ **To V ～, S would ...（不定詞に隠れた仮定）** ★★☆ … ～すれば［したら］…だろう
To hear・To see＋would は条件。目的「～するために」と取り違えない
To hear her speak English, you would think she was a native speaker.
彼女が英語を話すのを聞いたら、ネイティブスピーカーだと思うだろう。

☐ **as if＋仮定法** ★★☆ … まるで～かのように
as if＋had p.p.＝「まるで～したかのように」。時のずれを訳に出す
He talked about the city as if he had lived there for years.
彼はまるで何年もそこに住んでいたかのように、その町について話した。

☐ **should have p.p.** ★★★ … ～すべきだったのに(しなかった)
「のに」で事実との逆を示す。※「もう～したはずだ」の意味もある。must have p.p. と混同しない
We should have started preparing much earlier.
もっとずっと早く準備を始めるべきだったのに。

◆ ④ 強調・倒置・結果：語順を訳に生かす 4

☐ **It is A that ～(強調構文)** ★★★ … ～なのは A だ
A を文末に置いて強調を出す。形式主語「～ということは A だ」と取り違えない
It was her kind words that gave me the courage to try again.
もう一度挑戦する勇気をくれたのは、彼女の優しい言葉だった。

☐ **Little [Never]＋倒置** ★★☆ … 全く[一度も]～ない
文頭の little は「少し」ではなく強い否定
Little did we know that the decision would change our lives.
その決断が私たちの人生を変えることになるとは、思いもしなかった。

☐ **Only＋副詞(句・節)＋倒置** ★★☆ … ～して初めて／～によってのみ
「だけ」の訳抜けに注意。only の範囲は副詞部分
Only by working together can we solve this problem.
協力することによってのみ、この問題は解決できる。

☐ **so ～ that ...** ★★★ … とても～なので…／…なほど～
前から「とても～なので」が基本。否定の結果は「…できないほど～」も可
The lecture was so difficult that few students could follow it.
講義はとても難しかったので、ついていける学生はほとんどいなかった。

◆ ⑤ 名詞構文・無生物主語：「文」に戻す 5

☐ **the 名詞 of A(名詞構文)** ★★★ … A が～すること／A を～すること
of を主語か目的語に戻し、述語にする。「～の～」の連続は減点されやすい
The rapid growth of online shopping has changed the way we live.
直訳：オンラインショッピングの急速な成長が私たちの生き方を変えた →意訳：ネット通販が急速に広まったことで、私たちの暮らし方は変わった。

☐ **S enable O to V** ★★★ … S のおかげで O は～できる
「可能にする」の直訳も構造は正しいが、人を主語にすると自然
Modern technology enables us to work from anywhere.
直訳：現代の技術は私たちがどこからでも働くことを可能にする →意訳：現代の技術のおかげで、私たちはどこからでも働ける。

☐ **S prevent [keep] O from -ing** ★★★ … S のため[せいで]O は～できない
主語を原因(～のため)に訳す
A sudden illness prevented him from taking the exam.
急病のため、彼は試験を受けられなかった。

☐ **What makes A ～?** ★★☆ … なぜ A は～なのか
直訳「何が A を～にするのか」→「なぜ」で訳すと自然
What makes this book so popular among teenagers?
なぜこの本は十代にこれほど人気があるのだろうか。

☐ **This is why ～／This is because ～** ★★★ … こういうわけで～／これは～だからだ
why の後ろ＝結果、because の後ろ＝原因。向きを逆にすると誤訳
He missed the last train. This is why he took a taxi.
彼は終電に乗り遅れた。そういうわけでタクシーに乗ったのだ。

◆ ⑥ 関係詞・what：先行詞と節の範囲 5

☐ **what S is／what S has** ★★★ … 今の S(人柄)／S の財産
この型では「S が何であるか」と疑問詞に訳さない(※間接疑問のこともある)
We should judge people by what they are, not by what they have.
直訳：人を、持っているものではなくその人であるところのもので判断すべきだ →意訳：人は財産ではなく人柄で判断すべきだ。

☐ **A is to B what C is to D** ★★☆ … A と B の関係は C と D の関係と同じ
「B にとっての A は D にとっての C だ」も可。比例の構造が見えれば OK
Sleep is to the brain what food is to the body.
睡眠と脳の関係は、食べ物と体の関係と同じだ。

☐ **～, which ...(前の文全体)** ★★★ … そしてそのことが…
前から訳し下ろす。which が何を指すかを日本語で明示する
She passed the exam on her first try, which surprised everyone.
彼女は一度で試験に合格し、そのことに皆が驚いた。

☐ **関係詞＋S think＋V** ★★☆ … S が～だと思う(もの・人)
S think を( )でくくる。「S は思う」を独立させて訳さない
Do what you believe is right.
自分が正しいと信じることをしなさい。

☐ **the extent [degree] to which S V** ★★☆ … S がどの程度～するか
to which を節に戻す(S V to the extent)と意味が取れる
The extent to which children read depends largely on their home environment.
子どもがどの程度本を読むかは、家庭環境に大きく左右される。

◆ ⑦ 不定詞・分詞・その他：つなぎ方を決める 6

☐ **～, only to V** ★★★ … ～したが、結局…だった
目的「…するために」と訳すと誤訳。結果を訳し下ろす
She rushed to the store, only to find it closed.
彼女は店に急いだが、閉まっていた。

☐ **分詞構文 -ing ～, S V** ★★★ … ～して／～なので／～しながら
意味は文脈で1つに決める。迷えば「～して」で因果をぼかすのが無難
Not knowing what to say, I remained silent.
何と言えばよいかわからず、私は黙っていた。

☐ **with O C(付帯状況)** ★★☆ … O が C の状態で／O が C なので
with を「～と一緒に」と訳さない。O と C の主述関係を出す
With so many people watching, she felt nervous.
とても多くの人が見ていたので、彼女は緊張した。

☐ **be to V** ★★☆ … 予定・義務・可能・運命・意図
if 節の中は「～するつもりなら／～するには」。文脈で1つ選ぶ
If we are to succeed, we must start now.
成功するには、今すぐ始めなければならない。

☐ **A is one thing; B is another** ★★☆ … A と B は別物だ
直訳「A は1つのことで B はもう1つのこと」は意味が伝わらない
To know is one thing; to teach is another.
知っていることと教えることは別物だ。

☐ **as S V(比例・様態)** ★★☆ … ～につれて／～ように
比較級・変化の動詞があれば「～につれて」。識別は「as の識別チートシート」
As we get older, our tastes change.
年を取るにつれて、好みは変わる。

◆ 直訳・自然な訳・意訳しすぎの境目

英文の核	直訳（構造は○）	自然な訳（目標）	意訳しすぎ（危険）
It was not until A that B	A までは B しなかった	A して初めて B した	A したので B した（因果にすりかえ）
S enable O to V	S は O が～するのを可能にする	S のおかげで O は～できる	O は～できる（S が消える）
not always	いつも～というわけではない	～とは限らない	～ではない（部分否定が消える）
should have p.p.	～すべきだった	～すべきだったのに	～しなかった（後悔が消える）

◆ 本番の手順 4

① **下線部の構文に印をつける**
not until・no more than・, which など、型のある所を囲む

② **型どおりに直訳する**
主語・述語・修飾を1対1で対応させた訳をまずメモ

③ **日本語に整える**
名詞構文・無生物主語は文に戻す。語順を自然に

④ **訳抜けを点検する**
比較級・助動詞・時制・否定・指示語を1つずつ確認

◆ 確認テスト：最も適切な訳は？

1 He is the last man to break a promise.
a 彼は決して約束を破るような人ではない
b 彼は最後に約束を破った　c 彼は約束を破る最後の男だ

2 I like him all the better for his faults.
a 欠点があるので、なおさら彼が好きだ
b 欠点のせいで彼が嫌いになった　c 欠点があっても、彼が好きだ

3 To hear him talk, you would think he was the boss.
a 彼は上司だと思って話を聞いた
b 彼の話を聞くために、上司だと思うだろう
c 彼の話しぶりを聞いたら、彼が上司だと思うだろう

4 It is not that she is lazy, but that she is tired.
a 彼女は怠けていて、しかも疲れている
b 彼女は怠けているのではなく、疲れているのだ
c 彼女は疲れているので怠けている

5 The heavy rain kept us from going out.
a 大雨の中、私たちは外出し続けた
b 大雨が私たちを外出から守った
c 大雨のせいで私たちは外出できなかった

◆ 解答

1 彼は決して約束を破るような人ではない the last ～ to V＝最も～しそうにない

2 欠点があるので、なおさら彼が好きだ all the 比較級 for A＝A なのでいっそう

3 彼の話しぶりを聞いたら、彼が上司だと思うだろう 不定詞に隠れた if

4 彼女は怠けているのではなく、疲れているのだ It is not that A but that B

5 大雨のせいで私たちは外出できなかった keep O from -ing＝無生物主語は原因に

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）